

(仮称) 国分寺市デジタル田園都市構想総合戦略策定の方向性について

1 国の経過

- ・平成26年11月 まち・ひと・しごと創生法制定
- ・平成26年12月 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- ・令和元年12月 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- ・令和4年12月 デジタル田園都市国家構想総合戦略策定
→地域の個性を生かしながら、デジタルの力によって地方創生の取組を加速化・深化させていく。

2 本市の経過

- ・平成27年10月 国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- ・令和3年3月 国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）策定（以下「第2期市総合戦略」という。）
→取組の方向やまちづくりの考え方が、国分寺市総合ビジョンの目的や内容と密接に関係していることから、両計画を統合した。
→両計画を一体的に管理し、効果的・効率的に施策を推進していく。

3 (仮称) 国分寺市デジタル田園都市構想総合戦略策定の方向性

(仮称) 国分寺市デジタル田園都市構想総合戦略（以下「第3期市総合戦略」という。）においても、第2期市総合戦略の考え方と同様に、第2次国分寺市総合ビジョン（以下「第2次総合ビジョン」という。）と統合し、一体的に管理することとし、両者の関係については、以下のとおり整理する。

(1) 地域ビジョンについて

「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和5年12月版）」（以下「手引き」という。）では、地域の個性や魅力を生かした地

域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を地方版総合戦略に記載するよう努めることとしている。

第3期市総合戦略においては、国分寺市ビジョンを地域ビジョンとして設定することとする。

(2) 基本目標・数値目標・重要業績評価指標（KPI）について

手引きでは、地域の実情に応じて実施すべき具体的な施策と、それを一定のまとまりにした施策分野における目標及び基本的方向（この二つをまとめて本市では「基本目標」という。）を掲げ、更にその達成度合いや効果を客観的に検証するための数値目標（本市では「目標達成指標」という。）と重要業績評価指標（KPI）を設定することとしている。

第3期市総合戦略においては、基本目標は第2期市総合戦略のものを継承するとともに、具体的な施策、目標達成指標及び重要業績評価指標（KPI）については、第2期市総合戦略と同様に、第2次総合ビジョンのまちづくりの指標と数値目標を体系的に組み替えた上で、設定することとする。

(3) 計画期間について

第2次総合ビジョンにあわせて、令和7年度から令和10年度までの4年間とする。

第3期市総合戦略の構成案

